

あなたに薦める『この一冊』9月

『失敗図鑑:すごい人ほどダメだった!』

大野正人著 文響社

英語教諭 鳥居 千恵

高校 3年6組 担任



これは偉人伝でおなじみの、野口英世や夏目漱石、アインシュタイン、スティーブ・ジョブズなど、よく知っている人たちの以外な人間らしさが垣間見れる図鑑です。

失敗した人は“自分が”失敗したことで頭がいっぱいになるけれど、こうして他の人の失敗を見てみると、案外同じようなことで悩んでいるんだな、ということが見えてきます。

偉人が偉人と呼ばれるその裏には、たくさん失敗をして、たくさんいろんなことを言われてきました。チャレンジをすれば必ず失敗はするし、ボロも出てきます。新しい環境で勉強をスタートし始めた中学1年生に、もしくは、勉強が難しくなっていくにつれて自信を失いかけた時、失敗してへこんでしまった時にこの図鑑を開いてみることをオススメします。

個人的に印象的だった偉人の失敗談を一部紹介して、「あなたにオススメするこの一冊」を締めくくりたいと思います。

日本を代表する作家、夏目漱石。もともと日本の学校で優秀な英語の先生だった夏目漱石に国費で海外留学をしないかと国から話しを持ち掛けられます。いざ、イギリスについてみると英語の先生であるはずの自分の英語が伝わらず、惨めな思いを隠し切れず、部屋に引きこもってしまった。

今でも知られている夏目漱石ですらそんな惨めな思いをした時があったのか、と思うと、情けない姿も含めて自分を受け入れることができたこともあります。本音を打ち明けられる、そんな友人がこの本の中から見つかけられると幸運なことかなと思います。

夏目漱石豆知識

慶応3年1月5日生まれ。松山中学、第五高等学校で英語教師をつとめ、明治33年文部省留学生としてイギリスに留学。38年「ホトトギス」に発表した「吾輩は猫である」が好評を得、40年東京朝日新聞社に専属作家としてむかえられ、近代日本の知識人の自我をめぐる葛藤をえがいた作品をあらわす。正岡子規とまじわり、俳句や漢詩にしたしむ。門下には寺田寅彦、森田草平ら多数。大正5年12月9日死去。...

出典：日本人名大辞典, JapanKnowledge Lib



こんなエピソード……聞いたことない?

変わり種伝記 ☆ 偉人の本



・ 100人の履歴書シリーズ 本村凌二【監修】 宝島社



歴史上においての最重要人物100人の「履歴書」を、一挙掲載するシリーズです。履歴書によって、人物の生涯がわかることに加え、性格やトンデモエピソード、奇妙な癖、トラウマまで、人物に対する興味がより高まる記事を掲載。歴史上の人物を知ること、歴史全体をリアルに理解することができます。

・ 天才たちのびっくり!?子ども時代 ジャン・B・パイ, アンヌ・ブランシャル【共著】 岩崎書店

名高い天才たちの、問題山積みだった子ども時代をコミカルに描き、やがて彼らが「自分の道」を見つけるまでを紹介。科学者、政治家、画家、映画監督、俳優など、いろんなジャンルが勢ぞろい。ユーモアいっぱい、インパクトたっぷりの伝記。



・ 新しい伝記シリーズ 真山知幸【著】 学研プラス



歴史を変え、時代を作った天才たち。しかし、彼らの素顔は、失敗を繰り返し、トンデモ行動のオンパレードの超変わり者だった。それでも、彼らが時代を超えて愛される理由とは? 驚きながら楽しく読める、新しい伝記。他人の評価なんて「気にしなくていいんだ!」と思える本。

★鳥居 千恵(トリイ チエ)先生の紹介★

- * 担当科目・クラス
英語演習 (高3年1組、3年3組)
コミュニケーション英語Ⅲ (高3年3組、3年5組、3年6組)
- * 星座→おひつじ座
- * 趣味→ドライブ、家の近くの散歩
- * 自分の中学・高校生活
中学生時代は部活に没頭。ずっと音楽の練習をしていました。高校生時代はいろんな先生と喋りに、友達とよく職員室に行っていました。
- * 本校生の印象
あいさつができて、一緒に過ごしていて楽しいです!
- * 感動した本
『坂の上の雲』司馬遼太郎【著】 新潮社
- * 読むことが望ましい本
『人生をもっと賢く生きる頭の鍛え方』アーノルド・ベネット【著】 三笠書房

・ 東大教授がおしえるやばい日本史 本郷和人【監修】ダイヤモンド社



「すごい」ことを成しとげた人は、歴史に名前が残りますが、「すごい」だけの人なんてこの世にはひとりもいません。むしろ、ものすごい失敗をしたりへんな行動をしたりして、まわりから「やばい」と思われているような人が誰にもできない偉業をやっていることもあります。だからこそ、人はおもしろいのです!

・ ポンコツ武将列伝 長谷川ヨシテル【著】 柏書房

戦国三英傑・織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の「ポンコツ」な一面とは……読めばますます「歴史」が身近に感じられること請け合いの、人間くさいエピソード満載の1冊!



編集後記:「自分は何でこんな失敗をしてしまったんだろう……」誰しも一度は経験する悩みだと思います。だけど紹介した本の中にはもっとひどい「失敗」があるかも!? あなたが歴史上の人物の失敗から元気をもらえますように!